

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会
平成 24 年度 第 1 回理事会 議事録

- 1.開催日時 平成 24 年 4 月 5 日 午後 6:30～午後 8:15
- 2.開催場所 日本大学経済学部 7 号館 1 3 階会議室
- 3.理事総数 13 名
- 4.出席者数 9 名（書面表決書 3 名）
出席者（佐藤文宏、宇佐美彰朗、山西哲郎、保原幸夫、田村祐司、岩山海渡、藤田豊、釜崎太、近藤克之 敬称略）
書面表決書（吉村豊、岡田英孝、鈴木良雄 敬称略）
- 5.議長選任 議長として佐藤文宏氏が選出された。
- 6.議事の経過の概要および議決の結果
- 第 1 号議案 前常任理事会（3 月 1 日開催分）議事録に関する件（報告）
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったため承認されたものとする旨報告があった。
- 第 2 号議案 議事録署名人の指名について（報告・審議）
議事録署名人として田村祐司氏と近藤克之氏が選出された。
- 第 3 号議案 平成 23 年度事業報告書等提出書類について
保原氏より事業報告書、財産目録、貸借対照表、収支計算書等の案について説明があり、内容について質疑応答を行った。
国際交流駅伝の収益が約 27 万あったので、平成 23 年度末の正味財産は約 19 万円になった。ただし、収益事業になりそうな事業があるので、明日、神田税務署に相談予定である。
もし収益事業と判断されれば、法人税はそれほどの額にはならないが、都民税を毎年 7 万円程度で納税しなければならなくなる。
なお、NPO法の改正に伴い、提出先が内閣府から東京都に変更になった。
- 第 4 号議案 平成 24 年度の事業計画について
保嵐氏より計画案について説明があり、特に新規事業である「ランブリッジ計画」およびシンポジウム「Jリーグ百年構想と日独の市民スポーツを考える（仮題）」の詳細、進捗については、それぞれ藤田氏、釜崎氏から説明があり、検討を行った。
- － メルボルンマラソン日本事務局、市民ランナー交流セミナー、マラソン完走教室、アラフラゲームズ選手派遣事業は継続。
 - － 「ランブリッジ」計画については実行委員を募集中。現時点で 37 名の応募あり。
4 月末まで募集期間を延長して、選考を行い、実行委員によって年度計画を作成する。
 - － 今年度はスポーツ政策研究会との共催でシンポジウムを行い、来年度に単独開催のシンポジウムにつなげる。
第一回「市民スポーツの海外交流を考える（仮）」：7 月 22 日(日)予定

第二回「ドイツ・スポーツ研究の成果とニッポンの課題（仮）」：10月 or 11月

第三回「Jリーグ百年構想と日独の市民スポーツ（仮）」

：平成25年10月～平成26年2月

- 一 浦安市富岡公民館主催の小学生対象ランニング講座「美走塾」に講師を派遣する。講師は比嘉正樹氏、石川裕久氏で年間3講座（各6回）開催。両氏には会員になって貰う。

第5号議案 2013アラフラゲームについて（報告・審議）

下記スポーツ団体を訪問し協力を依頼。残りの団体を順次訪問予定。

- 一 陸上競技、バスケットボール、ボクシング、卓球、ホッケー、射撃、水泳、ウエイトリフティング、バドミントン（山西）
- 一 ライフセービング（岡田（繁）、保原）

第6号議案 その他

■年次総会について（審議）

5月24日（木）午後7時から開催する。

会員には総会開催案内、総会資料（事業報告書、会計報告書類、事業計画書、収支予算等）を送付する際に会費の納入お願いの手紙を同封することにする。

■次回理事会について（審議）

次回の理事会は、5月24日（木）に年次総会に先駆けて午後6時30分から開催する。

以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後8時35分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

平成24年4月5日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長

佐藤文宏

議事録署名人

近藤 亮之

議事録署名人

田村 祐司